

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年8月8日
【四半期会計期間】	第75期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	新田ゼラチン株式会社
【英訳名】	Nitta Gelatin Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 曾我 憲道
【本店の所在の場所】	大阪市浪速区桜川四丁目4番26号 (同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。)
【電話番号】	06(6563)1511
【事務連絡者氏名】	取締役専務執行役員管理本部長 佐々木 恒雄
【最寄りの連絡場所】	大阪府八尾市二俣二丁目22番地
【電話番号】	072(949)5381
【事務連絡者氏名】	取締役専務執行役員管理本部長 佐々木 恒雄
【縦覧に供する場所】	新田ゼラチン株式会社東京支店 (東京都中央区日本橋本町2丁目8番12号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第74期 第1四半期 連結累計期間	第75期 第1四半期 連結累計期間	第74期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	7,071,616	7,992,993	28,772,135
経常利益(千円)	615,049	562,635	1,978,910
四半期(当期)純利益(千円)	458,359	375,964	1,525,243
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	138,308	530,917	1,913,787
純資産額(千円)	7,958,384	10,129,421	9,724,663
総資産額(千円)	22,774,390	25,574,845	25,190,318
1株当たり四半期(当期)純利益金 額(円)	29.07	23.84	96.72
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	34.6	39.0	38.0

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 一部の海外関係会社において、IAS第19号「従業員給付」(平成23年6月16日)を当第1四半期連結会計期間より適用しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より、一部海外関係会社において改訂後のIAS第19号を適用しております。当該会計方針の変更は遡及適用されているため、前年同期比較にあたっては、会計方針の変更を反映した後の前年同期数値に基づき算出しております。なお、文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、さまざまな課題があるものの緩やかな回復傾向が続いており、底堅さが見られました。一方、日本経済は、政府の政策、日本銀行の金融緩和により円安・株高基調で推移し、景気の回復期待が広がりました。

当社グループにとっては、ゼラチン原料の高止まり、日本におけるエネルギーコストの上昇と円安による輸入仕入れコスト上昇など厳しい環境となりました。

このような状況のもと、当社グループは「Amaze the World!! - 世界をあっと驚かせる会社 - 」をスローガンとして、「Win out!! in growing Asian market - 成長するアジアで勝ち抜く - 」を基本戦略に、お客様の期待の一步先を行く製品・サービスの提供、新製品開発、新市場開拓、コスト削減に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は、7,992百万円（前年同期比13.0%増加）、営業利益は451百万円（前年同期比23.1%減少）、経常利益は562百万円（前年同期比8.5%減少）、四半期純利益は375百万円（前年同期比18.0%減少）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

コラーゲン素材事業

ゼラチンは、日本では食用、カプセル用が増加し、海外では旺盛な需要を背景に価格改定により、売上は好調に推移しました。

コラーゲンペプチドは、日本では伸び悩みましたが、アジア地域での販売が増加し、売上が増加しました。

コラーゲンケーシングは、北米市場での需要は堅調でしたが、欧州、中国での販売が減少し、売上は横ばいとなりました。

その結果、当該事業の売上高は、5,279百万円（前年同期比20.4%増加）、セグメント利益は、444百万円（前年同期比18.4%減少）となりました。

フォーミュラソリューション事業

食品材料は、製菓・デザートやハム・ソーセージ用が好調に推移し、売上は堅調に推移しました。

接着剤は、シーリング材（高機能樹脂）が好調に推移しましたが、ホットメルト形接着剤が伸び悩み、売上はほぼ横ばいとなりました。

その結果、当該事業の売上高は、2,713百万円（前年同期比1.0%増加）、セグメント利益は、334百万円（前年同期比13.1%減少）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末比384百万円増加の25,574百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が577百万円、受取手形及び売掛金が183百万円減少した一方で、商品及び製品などのたな卸資産が646百万円の増加と、コラーゲンケーシング設備更新及びコラーゲンペプチド工場建設に伴い有形固定資産が352百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比20百万円減少の15,445百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が155百万円、賞与引当金が103百万円増加したことにより流動負債が359百万円増加した一方で、長期借入金の351百万円減少等により、固定負債が380百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末比404百万円増加の10,129百万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定が173百万円、利益剰余金が249百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の38.0%から39.0%となり、1株当たり純資産額は607円31銭から632円62銭となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、260百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	50,000,000
計	50,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	15,770,074	18,170,074	東京証券取引所 市場第一部	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない、当社における標準となる株式で、単元株式数は100株であります。
計	15,770,074	18,170,074	-	-

(注) 平成25年7月10日開催の取締役会決議による、平成25年7月29日を払込期日とする公募増資により、提出日現在の発行株式数が2,400,000株増加し、18,170,074株となっております。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	15,770,074	-	1,577,121	-	1,379,863

(注) 提出日現在におきましては、平成25年7月10日開催の取締役会決議による、平成25年7月29日を払込期日とする公募増資により、発行済株式総残高が2,400,000株増加し18,170,074株、資本金、資本準備金残高がそれぞれ1,445,040千円増加しております。

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 100	-	(注)
完全議決権株式(その他)	普通株式 15,765,900	157,659	(注)
単元未満株式	普通株式 4,074	-	-
発行済株式総数	15,770,074	-	-
総株主の議決権	-	157,659	-

(注) 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
新田ゼラチン(株)	大阪市浪速区桜川四丁目4番26号	100	-	100	0.00
計	-	100	-	100	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,278,659	1,700,747
受取手形及び売掛金	2 5,839,913	2 5,656,396
商品及び製品	4,404,789	4,806,323
仕掛品	918,045	1,059,013
原材料及び貯蔵品	1,508,837	1,613,066
その他	385,762	428,573
貸倒引当金	16,176	16,326
流動資産合計	15,319,831	15,247,794
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,792,208	2,857,535
機械装置及び運搬具(純額)	1,343,676	1,310,945
その他(純額)	2,151,627	2,471,825
有形固定資産合計	6,287,512	6,640,307
無形固定資産		
その他	48,696	46,513
無形固定資産合計	48,696	46,513
投資その他の資産		
投資有価証券	2,768,381	2,920,429
その他	767,704	721,330
貸倒引当金	1,809	1,528
投資その他の資産合計	3,534,277	3,640,230
固定資産合計	9,870,486	10,327,051
資産合計	25,190,318	25,574,845

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,736,664	3,891,818
短期借入金	1,145,432	1,194,303
1年内返済予定の長期借入金	2,068,482	2,052,192
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
未払法人税等	81,273	160,344
賞与引当金	220,847	324,048
その他	2,184,378	2,174,266
流動負債合計	9,637,079	9,996,973
固定負債		
長期借入金	3,142,014	2,790,295
退職給付引当金	2,276,795	2,284,441
役員退職慰労引当金	35,422	35,422
その他	374,344	338,291
固定負債合計	5,828,575	5,448,450
負債合計	15,465,655	15,445,424
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,577,121	1,577,121
資本剰余金	1,398,633	1,398,633
利益剰余金	8,194,375	8,444,180
自己株式	68	68
株主資本合計	11,170,062	11,419,867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	499,868	576,613
繰延ヘッジ損益	27,858	13,101
為替換算調整勘定	667,634	493,713
在外子会社の年金債務調整額	1,452,870	1,513,272
その他の包括利益累計額合計	1,592,778	1,443,473
少数株主持分	147,379	153,026
純資産合計	9,724,663	10,129,421
負債純資産合計	25,190,318	25,574,845

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】

【 四半期連結損益計算書 】

【 第 1 四半期連結累計期間 】

(単位 : 千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
売上高	7,071,616	7,992,993
売上原価	5,257,107	6,229,307
売上総利益	1,814,508	1,763,686
販売費及び一般管理費	1,227,107	1,311,740
営業利益	587,401	451,945
営業外収益		
受取利息	131	198
受取配当金	9,113	9,278
為替差益	-	64,584
持分法による投資利益	63,051	53,621
その他	21,769	25,138
営業外収益合計	94,065	152,820
営業外費用		
支払利息	38,513	35,103
為替差損	23,173	-
その他	4,728	7,027
営業外費用合計	66,416	42,131
経常利益	615,049	562,635
特別利益		
固定資産売却益	10,897	-
特別利益合計	10,897	-
特別損失		
固定資産除却損	-	8,454
投資有価証券評価損	9,871	-
特別損失合計	9,871	8,454
税金等調整前四半期純利益	616,075	554,180
法人税等	154,980	179,793
少数株主損益調整前四半期純利益	461,094	374,386
少数株主利益又は少数株主損失 ()	2,735	1,578
四半期純利益	458,359	375,964

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	461,094	374,386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82,787	76,807
繰延ヘッジ損益	16,649	12,754
為替換算調整勘定	175,747	212,790
在外子会社の年金債務調整額	50,209	60,401
持分法適用会社に対する持分相当額	97,810	59,910
その他の包括利益合計	322,786	156,530
四半期包括利益	138,308	530,917
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	134,772	525,270
少数株主に係る四半期包括利益	3,536	5,647

【注記事項】

(会計方針の変更)

一部の海外関係会社において、IAS第19号「従業員給付」(平成23年6月16日)を当第1四半期連結会計期間より適用しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の四半期純利益は3百万円減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産残高は累積的影響額が反映されたことにより153百万円減少しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 偶発債務

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
債権譲渡による遡及義務	475,196千円	438,375千円

2. 四半期連結会計期間末満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	106,414千円	73,016千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	185,892千円	214,853千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	126,159	8.00	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

(注) 平成24年3月期期末配当金の内訳 普通配当6円00銭 記念配当2円00銭

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	126,159	8.00	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

(注) 平成25年3月期期末配当金の内訳 普通配当6円00銭 記念配当2円00銭

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コラーゲン素材事業	フォーミュラソリューション事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	4,384,495	2,687,120	7,071,616	-	7,071,616
セグメント間の内部売上高又は振替高	307,743	-	307,743	(307,743)	-
計	4,692,239	2,687,120	7,379,359	(307,743)	7,071,616
セグメント利益	545,060	384,930	929,991	(342,590)	587,401

(注)1. セグメント利益の調整額 342,590千円には、セグメント間取引消去677千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 343,267千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コラーゲン素材事業	フォーミュラソリューション事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	5,279,632	2,713,360	7,992,993	-	7,992,993
セグメント間の内部売上高又は振替高	329,131	-	329,131	(329,131)	-
計	5,608,763	2,713,360	8,322,124	(329,131)	7,992,993
セグメント利益	444,927	334,641	779,569	(327,623)	451,945

(注)1. セグメント利益の調整額 327,623千円には、セグメント間取引消去525千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 328,149千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

一部の海外関係会社において、IAS第19号「従業員給付」(平成23年6月16日)を当第1四半期連結会計期間より適用しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間におけるコラーゲン素材事業のセグメント利益は4百万円減少しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	29円07銭	23円84銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	458,359	375,964
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	458,359	375,964
普通株式の期中平均株式数(株)	15,769,912	15,769,912

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(公募増資及び第三者割当増資について)

当社は、平成25年7月10日開催の取締役会において、以下のとおり、新株式発行及び当社株式の売出しを行うことについて決議しました。なお、公募による新株式発行については、平成25年7月29日に払込を受けております。

1. 公募による新株式発行(一般募集)

(1) 発行した株式の種類及び数	普通株式	2,400,000株
(2) 発行価格	1株につき	1,256円
(3) 発行価格の総額		3,014,400,000円
(4) 払込金額	1株につき	1,204.2円
(5) 払込金額の総額		2,890,080,000円
(6) 増加した資本金及び 資本準備金の額	増加した資本金の額 増加した資本準備金の額	1,445,040,000円 1,445,040,000円
(7) 払込期日		平成25年7月29日(月)

2. 株式の売出し(オーバーアロットメントによる売出し)

(1) 売出株式数		360,000株
(2) 売出価格	1株につき	1,256円
(3) 売出価格の総額		452,160,000円
(4) 受渡期日		平成25年7月30日(火)

3. 第三者割当による新株式発行(本第三者割当増資)

(1) 発行する株式の種類及び数	普通株式	360,000株
(2) 払込金額	1株につき	1,204.2円
(3) 払込金額の総額	上限	433,512,000円
(4) 増加する資本金及び 資本準備金の額	増加する資本金の額 増加する資本準備金の額	上限 216,756,000円 上限 216,756,000円
(5) 割当先及び割当株式数	S M B C 日興証券株式会社	360,000株
(6) 申込期日		平成25年8月27日(火)
(7) 払込期日		平成25年8月28日(水)

4. 資金の使途

当社大阪工場設備投資及び当社連結子会社への投融資資金等

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月8日

新田ゼラチン株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小市裕之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 市之瀬申 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている新田ゼラチン株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、新田ゼラチン株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成25年7月10日開催の取締役会において、新株式発行及び株式の売出しを行うことについて決議し、公募による新株式発行については、平成25年7月29日に払込が完了している。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。